

樺太礦業令ハ之ヲ廢止ス

明治四十五年六月十七日
内閣總理大臣印 法制局長官

別紙拓殖局總裁稟申樺太ニ於ケル石
炭採掘ニ付採掘料ヲ徵收スヘキ區域
指定ノ件ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀
ト思考又依テ稟申シ通閲令發布相成
可然ト認ム

呈案付表ノ通

閲令案

卷八

・樟太二於ケル石山灰，揉羅二漢二ル

法律系

第一條 樺太ニ於テハ主務大臣、指定シタル
區域内ノ石炭採掘ニ付株式權ヲ徵收

前項ノ区域内ニ於ケル石炭ノ採掘ハ其ノ
株式会社競争入札ニ附レサガ札有ニ之ヲ

競争入札加入者、資格及競争入札ノ

方法ニ關スル規定ハ初令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行ノ際第一條ノ區域内ニ於ケル國、
石炭採掘區域ニ付テハ國ハ其、鑛業權ヲ
有ス

卷照

・樺太ニ於テ鑛業ヲ許可スヘキ区域 内務省令第十二號

○内務省令第十二號
樺太ニ於テ鑛業ヲ許可スヘキ區域ハ當分ノ内樺太ノ全部ヨリ左ノ場所ヲ除キタル地域トス。

明治四十二年一月二十日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

- 一 「ウリウ」川及「トコンボ」川流域以南能登呂半島一圖
- 二 「トマリオロ」川流域一圖
- 三 東ハ分水嶺ヲ界トシ北ハ「トマリオロ」川流域ヨリ南オテフ「ゴロ」川流域ニ至ル間一圖
- 四 第一支流落合基點ヨリ上流内淵川流域一圖
- 五 第一支流落合基點ヨリ上流ブヌタヤ一川流域一圖
- 六 「エストル」川流域一圖

七 「ナヤシ」川口ト「セルトナイ」川口トヲ連結シタル直線ヨリ東方一千間ノ間一圓
八 「ナヨロ」川以北國境ニ至ル間ノ幹線道路ト其ノ西方分水嶺トノ間一圓

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十年内務省令第十一號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

〔参照〕

明治四十年五月内務省令第十一號ハ本號ト同件ナリ

○文部省令第一號

明治四十年五月内務省令第十一號ハ本號ト同件ナリ

○文部省令第一號

明治四十年五月内務省令第十一號ハ本號ト同件ナリ

參照

石炭發事

一〇〇

育三



玄心

様太：於ケル石炭ノ株據ニ關スル法律ノ制定
二件ヒ同法第一條第一項ニ依リ株據料ソシ徵收ス
ヘキ區城拘定ノ必逐有之候條列案少，直向令公
布相成度此般稟申候也

明治四十五年五月廿一日

拓殖局總裁元田謹聲



内閣總理大臣信齋西園寺公望殿

甲一一〇

石 直 局

閣令第二號

明治四十五年法律第三十三號

頃ニ依リ樺太ニ於テ石炭、採掘ニ付採
掘料ヲ徵收スヘキ區域左ノ通定ム

明治四十五年六月三十二日

内閣總理大臣

一 雨龍川及吐鯢保川流域以南能登呂半島

一圓

二 泊居川流域一圓

三 八分水嶺ヲ界トシ北ハ泊居川流域
ヨリ南追手川流域ニ至ル間一圓

四 内淵川流域一圓但シ第一支流落合基點
ヨリ下流ヲ除ク

五 壬川流域一圓但シ第一支流落合基點
ヨリ下流ヲ除ク

六 内露川以北國境ニ至ル間ノ幹線道路ト
其西方分水嶺トノ間一圓

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス